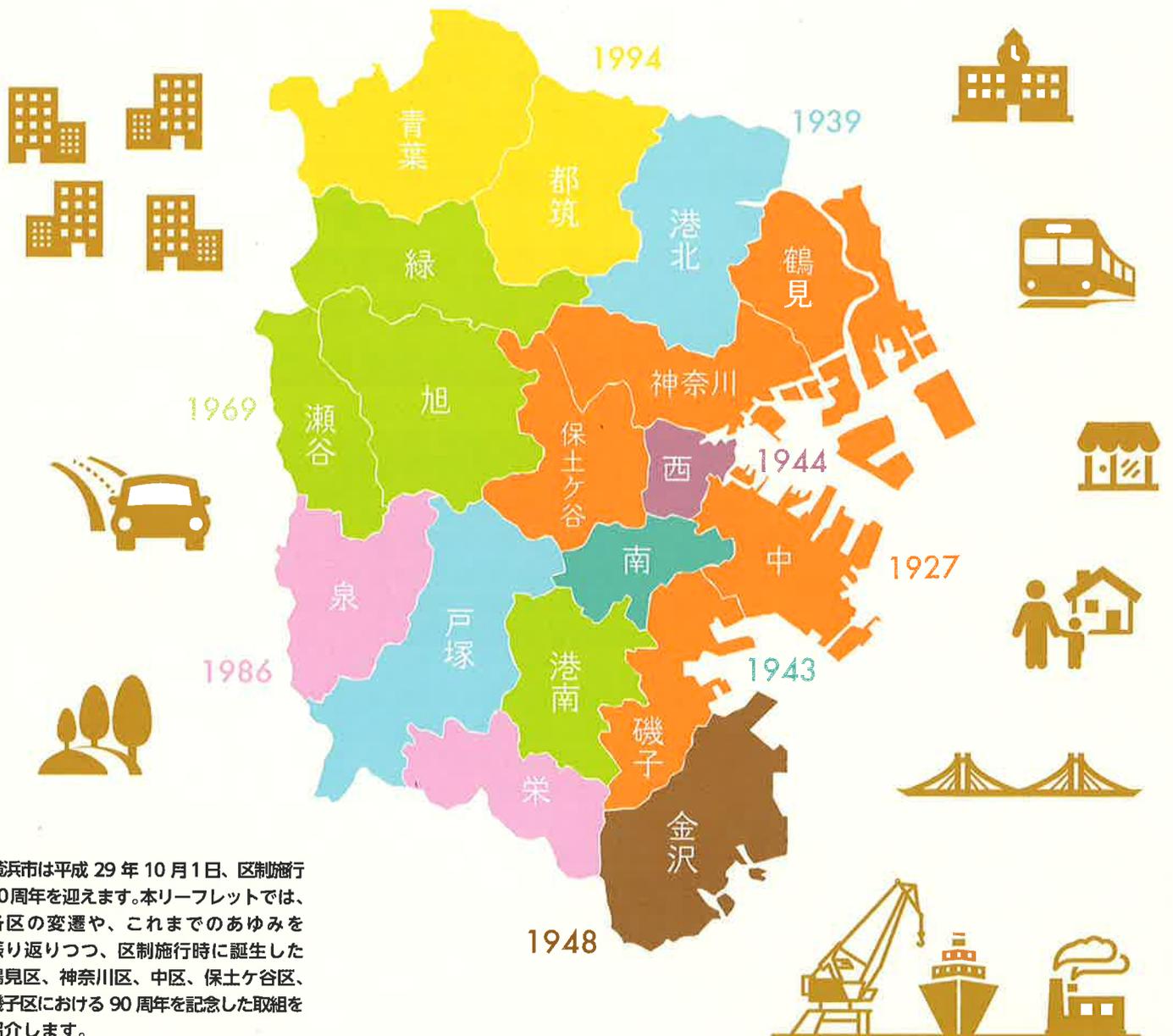


-City of Yokohama-

# 横浜市

## 区制 90 周年

-Ward System 90th Anniversary-

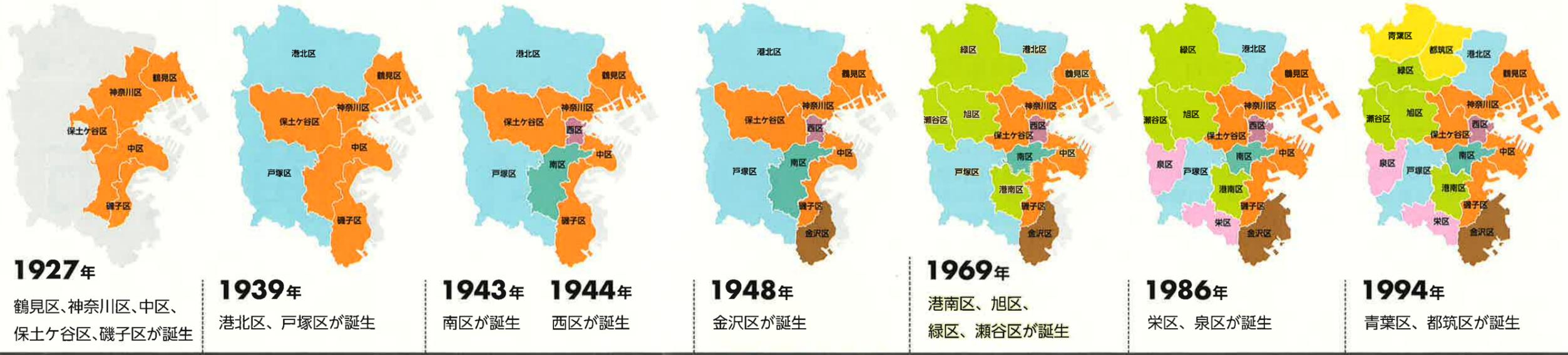


横浜市は平成 29 年 10 月 1 日、区制施行 90 周年を迎えます。本リーフレットでは、各区の変遷や、これまでのあゆみを振り返りつつ、区制施行時に誕生した鶴見区、神奈川区、中区、保土ヶ谷区、磯子区における 90 周年を記念した取組を紹介します。

# 区制施行の あゆみ

白の線：当時の横浜市

灰色部分は現在の横浜市



**1927年**  
鶴見区、神奈川区、中区、  
保土ヶ谷区、磯子区が誕生

**1939年**  
港北区、戸塚区が誕生

**1943年** 南区が誕生  
**1944年** 西区が誕生

**1948年**  
金沢区が誕生

**1969年**  
港南区、旭区、  
緑区、瀬谷区が誕生

**1986年**  
泉区、区が誕生

**1994年**  
青葉区、都筑区が誕生

- 1859年** ----- 横浜が開港
- 1889年** ----- 横浜で市制が施行される(人口116,193人・面積5.40km<sup>2</sup>)
- 1901年** ----- 第一次市域拡張(人口299,202人・面積24.80km<sup>2</sup>)
- 1911年** ----- 第二次市域拡張(人口444,039人・面積36.71km<sup>2</sup>)
- 1923年** ----- 関東大震災
- 1927年** ----- 第三次市域拡張(人口529,300人・面積133.88km<sup>2</sup>)  
区制を施行する

**鶴見区、神奈川区、中区、保土ヶ谷区、磯子区が誕生**

- 1936年** ----- 第四次市域拡張(人口738,400人・面積168.02km<sup>2</sup>)
- 1937年** ----- 第五次市域拡張(人口759,700人・面積173.18km<sup>2</sup>)
- 1939年** ----- 第六次市域拡張(人口866,200人・面積400.97km<sup>2</sup>)
- 1945年** ----- 横浜大空襲  
市街地の46%が被害を受ける
- 1956年** ----- 政令指定都市になる
- 1959年** ----- 現市庁舎が落成
- 1968年** ----- 人口200万人突破
- 1985年** ----- 人口300万人突破
- 2017年** ----- 区制施行90周年(人口3,733,886人)

## 横浜市における 区の姿

横浜市は、1956年に地方自治法で区(行政区)が設置される約30年前から、独自に区を設置し、市民生活に密着した形で市民サービスを提供してきました。法人格や公選の区長を持つ東京都の特別区とは異なり、横浜市としての一体性を保ちながらも、各区の実情や特性に応じて柔軟に事業を展開しています。

よりきめ細かく地域の課題に対応するため、「個性ある区づくり推進費(区の裁量や創意工夫を進める事業に執行できる予算)」を創設したほか、地区担当職員を配置して地域支援体制を充実させるなど、全国に先駆けて区役所機能を強化する取組を進めています。

現在の横浜市の区役所は、地域の総合行政機関・地域協働の総合支援拠点として、戸籍・税金・保険年金のほか、防災対策や地域振興、福祉保健サービス、道路・下水道・公園の維持管理など、多岐にわたる業務を担っています。

## 区制施行当初の5区紹介

### 【鶴見区】

鶴見は江戸時代の頃より、鶴見川の水運や東海道を往来する人によって川筋や街道筋を中心に賑わっていました。明治以降は、数回にわたって臨海部の埋め立て造成が行われ、京浜工業地帯の中核として発展してきました。

現在の鶴見区は、約29万人の人口を擁し、近年では、先端技術・製品開発型工場、研究所等の拠点多く進出し、国際色豊かでグローバルなまちとなっています。



### 【神奈川区】

鎌倉時代から神奈川湊としてにぎわい、江戸時代には東海道の宿場町「神奈川宿」として栄えるなど、古くから交通の要衝として発展するとともに、幕末には開国の舞台となり、寺院などに各国の領事館や公使館がおかれしました。

現在は、区のキャッチフレーズである「海と緑と丘のまち」のとおり、臨海部のウォーターフロントに広がる近未来的なまち、農地が残る緑に囲まれた風景、懐かしい雰囲気のお店街、尾根沿いの住宅街と、様々な表情をみせるまちとなっています。



### 【中区】

開港と共に西洋文明を取り入れる窓口になり、横浜の行政・経済の中心として発展。区制施行時には、人口約28万人と全市人口(約53万人)の半分以上を占めていました。その後、南区と西区を区分し、戦後は「開港以来の歴史と異国情緒」という横浜らしさを持ちながら、行政、商業、港湾、観光、居住機能などを合わせもつ地域に、1970年以降は、歴史や文化を活かしたまちづくりが進められてきました。



### 【保土ヶ谷区】

江戸時代には東海道の宿場として栄えた保土ヶ谷は、明治から大正にかけて、帷子川下流域に工場が進出し、内陸の工業地帯として発展しました。戦後次第に工場は縮小していきましたが、その後の高度経済成長による人口急増、宅地の開発や交通網の整備などにより、現在の姿となりました。まちの様相も変化してきましたが、現在も豊かな自然や風景はまちの様々なところに残されています。



### 【磯子区】

江戸時代は杉田梅林の見物客で賑わった磯子区は、その後海苔の養殖が盛んとなり、風光明媚な海岸線は別荘地や海水浴場として賑わいましたが、1959年に始まった根岸湾の埋め立てにより、臨海部は京浜工業地帯の一翼を担うようになりました。また、JR根岸線の延伸に伴い開発が進み、人口が急増しました。

こうして、古くからの町並みと高度経済成長期に開発された住宅地、そして臨海部の工業地帯と緑豊かな丘陵地・斜面緑地といった多様性を持つ区へと成長してきました。



# 90周年を迎える5区の取組



区制施行と同時に誕生し、今年10月1日に90周年を迎える5区の取組を紹介します。

## 【鶴見区】

鶴見区は今年1年を90周年本番イヤーとして、年間を通じて様々な記念事業・イベントを開催しています。鶴見区の三大祭りで90周年を記念した特別企画を実施するほか、9月30日(土)と10月1日(日)には「ワクワクつるみ！90周年祭」を鶴見駅周辺で開催します。沖縄のエイサーやブラジルのサンバが連なるパレード、大本山總持寺を会場とした友好都市物産展の実施など、鶴見の魅力が詰まっています。楽しみながら鶴見を知って、もっと好きになってもらいたい！皆で90周年を盛り上げましょう！



## 【神奈川区】

区民の皆さまに神奈川区への愛着をさらに深め、「つながり」を感じ、元気に活動していただくために、「区の魅力を発信、区の良さを再発見」「幅広い世代が参加し、つながりを強める」「元気な区を目指し、健康ムーブメントを広げる」の3つのコンセプトをもとに、様々な取組を展開しています。10月8日(日)の「神奈川区民まつり」をはじめ、11月4日(土)には「かめ太郎健康みちウォーク」を実施します。



## 【中区】

中区制90周年と中区の公会堂である開港記念会館100周年を記念して、区民の皆さまと共にこの記念の年を盛り上げるため、記念イベントや区民提案事業、同じく周年を迎える企業・団体の皆さまとの連携等、様々な取組を行ってきました。10月8日(日)開催の「ハローよこはま2017」では、設立30周年を迎えるJR東日本と連携したミニ電車運転など、周年を迎える区内団体と連携したイベントを予定しています。是非皆さまお越しいただき、中区の魅力を感じてください！



## 【保土ヶ谷区】

この節目の年を区民や事業者の皆さまと共に祝いするため、様々な記念事業を実施しています。10月14日(土)に行われる「ほどがや区民まつり」では、シャボン玉ショーや綱引き大会など親子で楽しめるイベントが目白押し！また、区の歴史や、区にゆかりのある方の対談・寄稿を掲載した記念記録冊子も発行します。11月、3月には著名人によるコンサートなど様々なイベントを開催して、90周年を盛り上げます。皆さま、ぜひご参加ください！



## 【磯子区】

「海輝き人も輝く未来の磯子 90年のありがとう」をキャッチフレーズに、区民・企業の皆様と90周年を盛り上げています。10月1日の100日前からのカウントダウンや10年後の自分に送るタイムカプセル郵便など、未来を担う小学生や保育園児とも取り組んでいます。10月1日(日)に開催する第41回磯子まつりは、1,000個の風船とばしでスタート。パレードや出店のほか、ご家族で楽しめる企画が目白押し。区内小中学生5名のユニット、区制90周年祝い隊「ISOGO 90」も登場！また、9月30日(土)の前日祭は音楽やダンスで盛り上げます。



横浜市長

林 文子

Fumiko Hayashi

横浜市における区制と最初に誕生した5区が、このたび90周年の大きな節目を迎えました。これまでの発展を温かく、力強く支えてくださった市民の皆様へ、改めて深く感謝申し上げます。

1859年の開港を契機に多様な文化を受け入れ発展してきた横浜は、拡張と成長を続けながらも、都市としての一体性を大切に保っています。とりわけ各区役所は、日々の暮らしに最も身近な行政機関として、市民の皆様とともに歩んできました。

これからも市民の皆様へ寄り添い、ご一緒に、将来にわたり心豊かな都市・横浜を実現してまいります。